

# 第一幕

# 市民が盛り上げた舞台裏

ロングラン公演を成功させる上で、市民の協力は不可欠。陰の立役者たちを追った。

## 市民エキストラ

### 踊って走って 舞台に花を添えた

ロングラン公演に欠かせないものの一つとして、市民が参加するエキストラがある。今回の公演では、舞踏会シーンで踊る貴族役と最終シーンでホリゾント（後壁）が



開くときに登場する夜警役。貴族役を、七尾東雲高校演劇科の生徒が熱演。さらに市民や市外からの参加者が夜警役で出演した。ロングラン公演開幕の約2週間前から能登演劇堂で稽古を行い、振付を覚えていた。

今回のエキストラは、25回の公演すべて参加することになっており、代役が立てられなかったため、ボランティアの範囲を超えた内容ではあったが、参加者は責任感を持って全うした。セリフはないものの、舞台での存在感は大きい市民エキストラ。今やロングラン公演の代名詞となっている。

## 中島中学校の「ぼらんちNAKAJIMA」

### ロングラン公演を支え 自ら成長する

中島中学校の「ぼらんちNAKAJIMA」は9月に結成したばかり。ボランティア活動を通して、達成感を感じ、道徳的価値を深める目的で活動している。

生徒たちは、会場や周辺の清掃活動を実施。公演中は観客の誘導やチケットのもぎりなどもした。

初めは恥ずかしそうに小さな声であいさつをしていたが、次第に爽やかな大きな声に。生徒会長も務める稲田真伍さん（3年）は「ありがたいと声をかけられた時、やってよかったと感じます。これからもボランティア活動を進んでやりたい」と爽やかな笑顔を見せた。

中学生の無垢な心がロングラン公演を支えていた。



## 舞台のペンキ塗りや仮面づくり

### 公演を支えた

### 七尾東雲高校演劇科の生徒たち

ロングラン公演を行うたびに、さまざまなボランティア活動を行っている七尾東雲高校演劇科。今回は大道具のペンキ塗りや、舞踏会の場面で使用する仮面の制作を行った。

仮面制作では、ネコやコウモリなどをイメージして、思い思いに制作。小藤瑠香さん（3年）は「ロングラン公演に携わることができてうれしいです。これを付けて気持ち良く踊ってほしい」と期待を込めた。

七尾東雲高校演劇科の生徒たちの若い力が今回も、ロングラン公演を支えた。



## テント市など

### 地元の味で歓迎に一役買う

特産品の能登かきや能登野菜の漬物、パンやかきもちなど自慢の味を販売しながら、満面の笑みで「ようこそ、おいでくださいました」と声をかける地域の人たちが。観劇を終えた観客は「帰りも笑顔で見送ってくれてうれしいね。また、七尾に来るよ」と握手で応え、思い出の1ページを刻んでいた。



## 託児所「NPO法人 ぽっかぽか」

### 子育て世代にも演劇鑑賞を！

親には心置きなく演劇を楽しんでもらいたいと、NPO法人ぽっかぽかは、公演中0歳児からの子どもを無料で預かった。鑑賞を終えた親は「おかげでリフレッシュできました」と感謝していた。このようなサービスが、演劇に触れる機会を増やし、ひいては子育て支援にもつながっている。

